日経IR・投資フェア2018
会社説明会

コスモ・バイオ株式会社

（証券コード：3386）

2018.8.31-9.1

www.cosmobio.co.jp

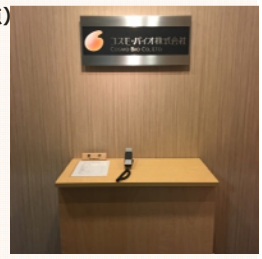
JPX
東証JASDAQ上場

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

会社概要

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

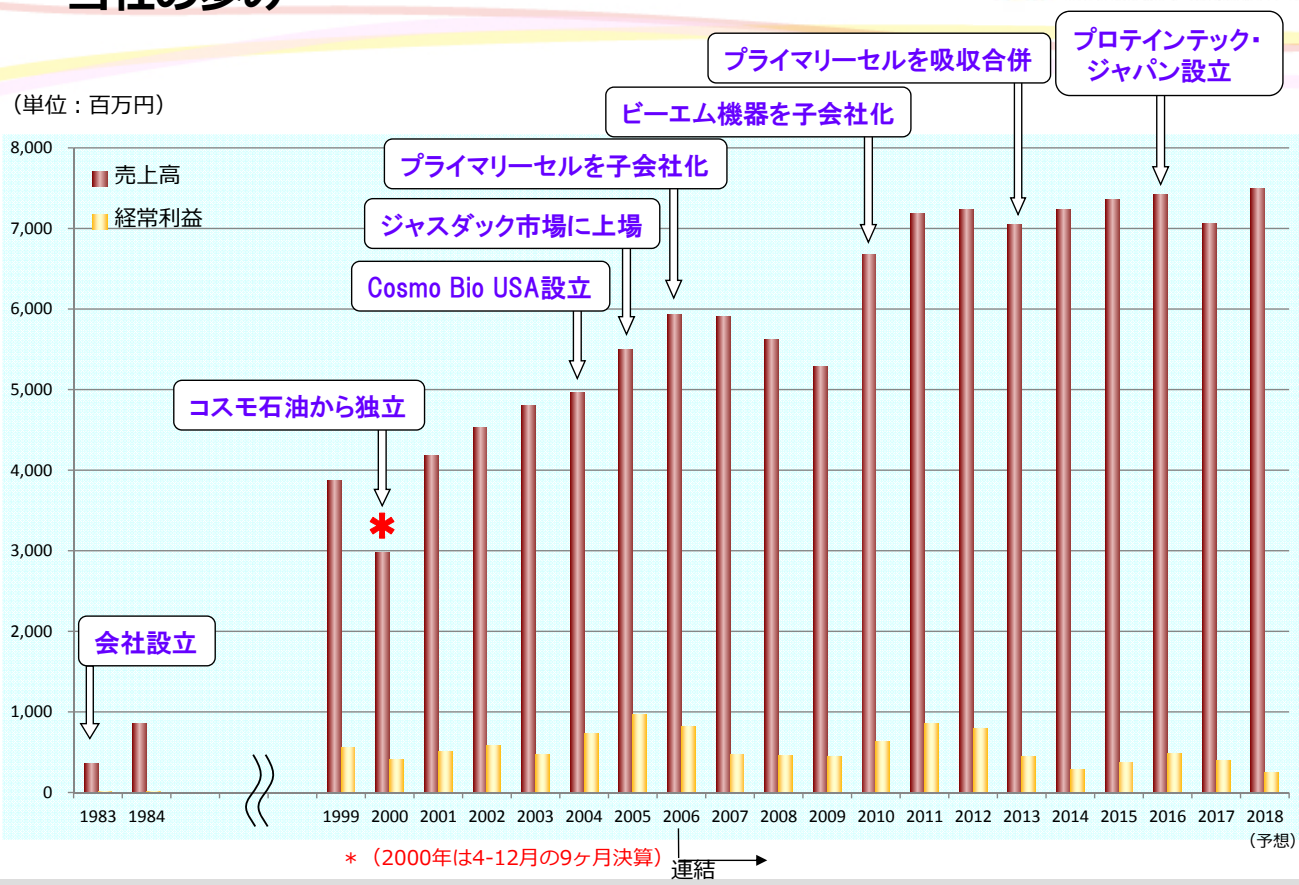
社名：	コスモ・バイオ株式会社
本社所在地：	東京都江東区東陽二丁目2番20号
代表者：	代表取締役社長　櫻井　治久
設立：	1983年8月25日
資本金：	918百万円
事業内容：	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の仕入（一部自社製造）及び国内・海外販売
従業員数：	連結：131名　個別：101名（2018年6月30日時点）
連結子会社：	ビーエム機器株式会社 COSMO BIO USA, INC.（2018年より連結開始）
非連結子会社：	株式会社プロテインテック・ジャパン



© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

当社の歩み

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社



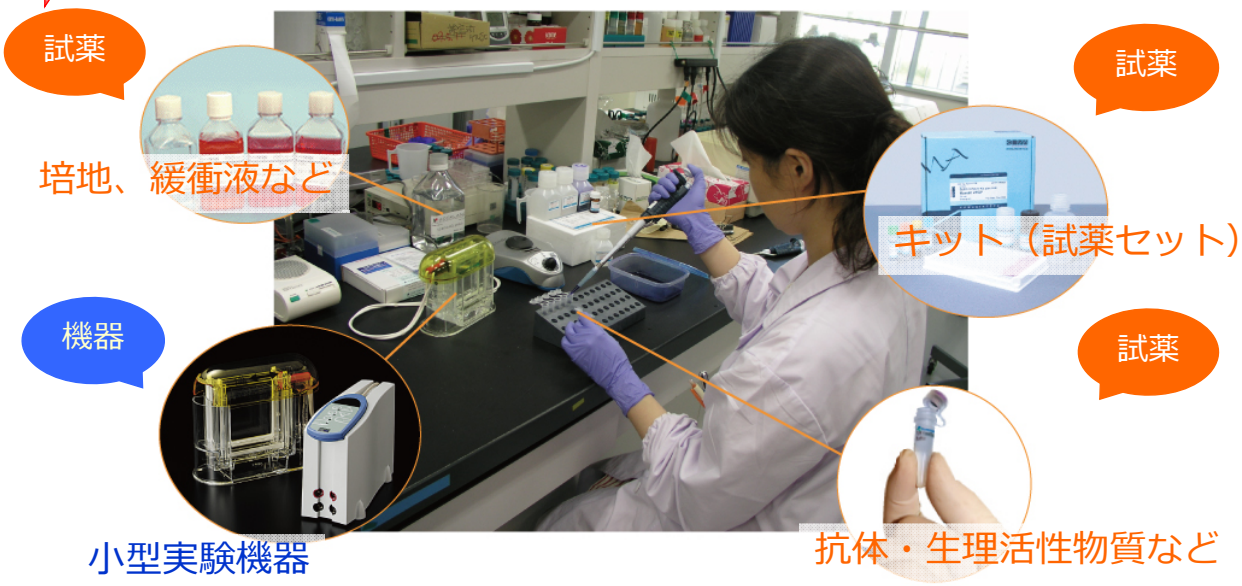
© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

何を売っている？

取扱商品の例

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

バイオ（ライフサイエンス）研究の実験に使う薬品（＝試薬）や道具（機器・器材）を販売しています。



試薬・機器の一例をブースで展示・紹介しています

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

何を売っている？

試薬とは？

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

実験・研究・測定のために使われる薬剤

化学物質以外にも、生物の体内から取り出した成分（タンパク質や細胞、核酸等）やそれを反応させるための溶液など、多種類の試薬があります。

なかでも・・・ライフサイエンス用（生化学用）は、
・生物から抽出したもの、あるいはその物質を合成したもの。
・数１０マイクログラムなど、目に見えないくらい少量で提供される。
（体内を模した実験をするにあたり、そのくらいの量で充分足りる）
↓↓↓
逆にいうと、体の中のこんなに少ない量の成分が何かしらのはたらきをしているということ。

«試薬の分類イメージ»

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

何を売っている？

機器・器材・消耗品とは？

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

実験・研究・測定で使われる

- 測定機器
- 反応用機器
- 手袋
- ピペット
- プレート
- チップ
- ・・・

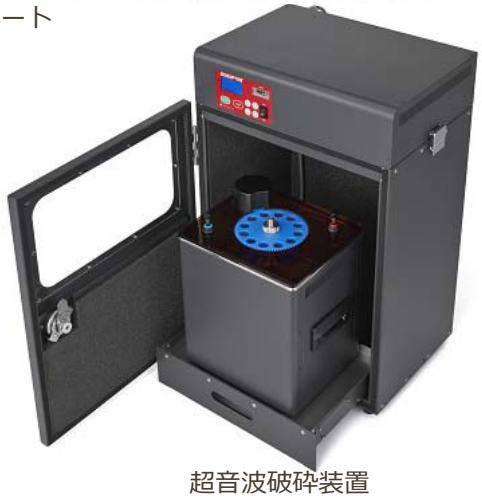
マイクロウェルプレート

チューブ

BIORUPTOR® II

MyRun II
あいみらん[aimiran]

電気泳動装置

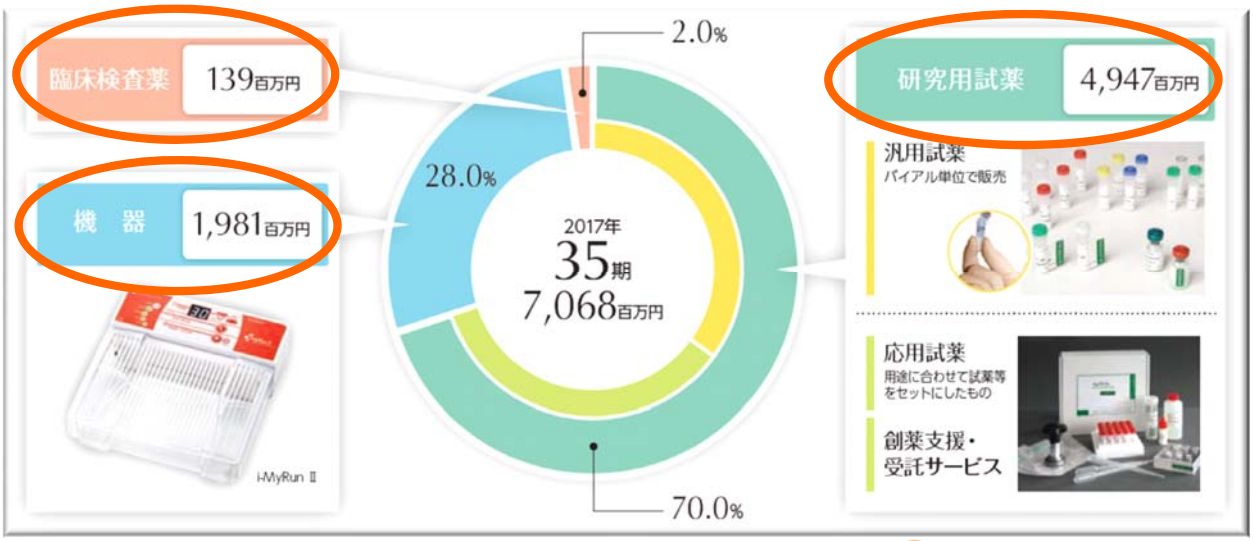

超音波破砕装置

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

何を売っている？

商品分類別売上高（連結）

コスモ・バイオ株式会社



BMBio
コスモ・バイオ株式会社

コスモ・バイオ株式会社
COSMO BIO USA
Great Reagents Drive Great Research

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

事業の内容①　－商流－

研究者と仕入先を結ぶ
コスモ・バイオ

約200拠点
代理店

研究者

コスモ・バイオ

大学・公的研究機関・
企業・病院など

取扱い数
約1400万品目

約600社
仕入先

取り扱い商品：研究用試薬・機器

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

誰に売っている？

事業の内容②　－ライフサイエンス研究とは－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

ライフサイエンス研究

何の研究？

たとえば、

がん、神経疾患、再生医療、生活習慣病、遺伝病・・・

養殖マグロ、遺伝子組換え食品・・・

アンチエイジング・・・

どういう研究？

たとえば、

細胞培養、遺伝子解析、成分測定、組織検査、質量分析・・・

誰が研究？

たとえば、

大学の医学部、薬学部、理学部、工学部、農学部、歯学部・・・

公的研究機関（理化学研究所、産業技術総合研究所、がんセンター）、検疫、警察・・・

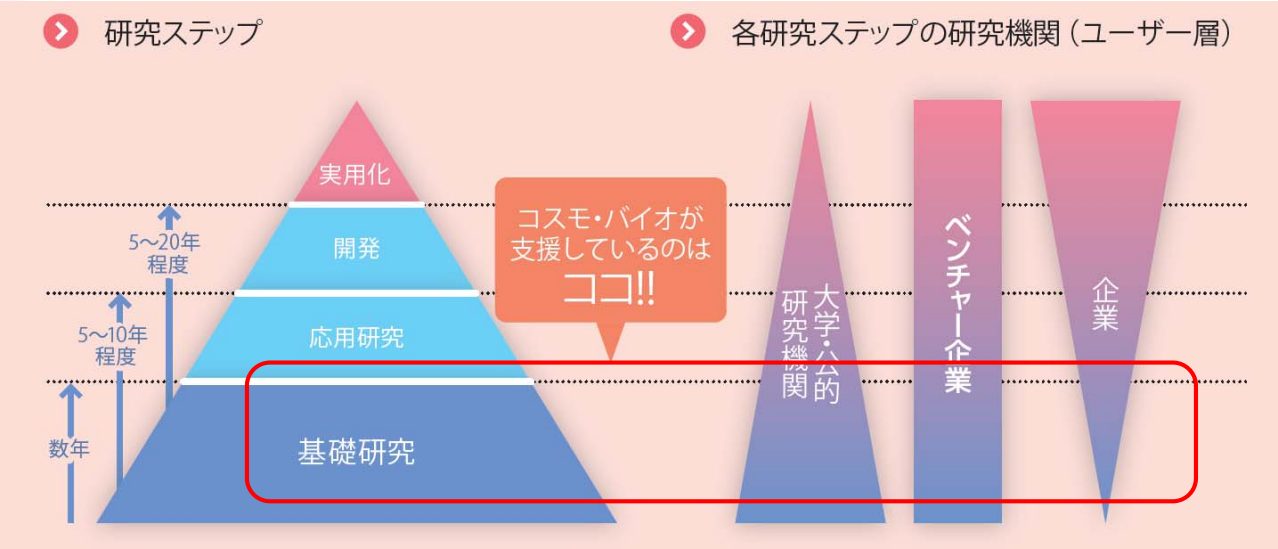
製薬企業、食品企業、化粧品企業、各種ベンチャー企業・・・

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

誰に売っている？

事業の内容③　－事業領域とユーザー層－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでには
とても長い年月がかかっています。
コスモ・バイオはその研究の第一歩である、「基礎研究」を行う
研究者向けに、研究用試薬・機器を販売しています。

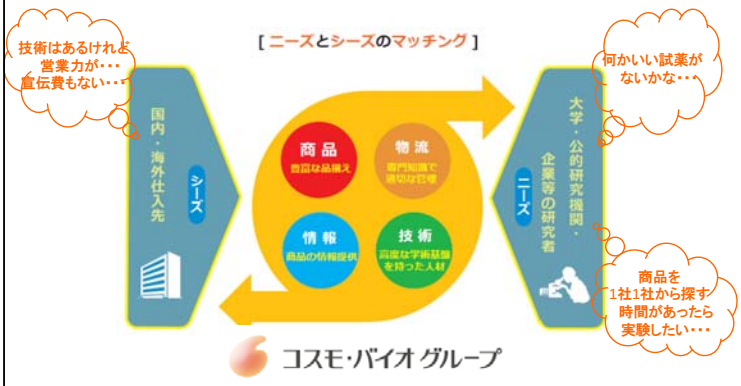
© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

事業の特徴①　－役割－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

●膨大な商品と多彩なユーザーニーズの「マッチング」

世界のメーカーから仕入れる膨大な商品ラインアップ（＝シーズ）の中から、研究者にとって有用な商品（＝ニーズ）を選び出し、タイムリーにお届けする。
商品とユーザーの「マッチング」こそが、最も重要な私たちの役割であり真髄。
これを実現させ、商品購入前のお問い合わせから購入後のフォローまで、迅速かつ丁寧に対応。



●適切な温度管理

試薬の多くは、タンパク質や核酸・細胞など、生物由来の物質、いわゆるナマモノであり、仕入から保管、お届けまで厳重な温度管理が必要。各種温度帯を備えた倉庫、入出荷ノウハウにより、適切な温度管理で商品をお届け。

●関係法令・規制

◆動物検疫
商品が動物由来、もしくは動物由来の成分を含む場合、輸入・輸出の際には動物検疫対象となる。専門知識により、迅速に対応。
◆使用・保管への注意
商品には、毒劇物・薬物・危険物・遺伝子組換え物質等の、法律で取扱いが厳しく定められているもの、有機溶媒など廃棄規制があるものがあり、商品取扱いに関する情報も適切に提供。

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

事業の特徴②　－商品情報提供ツール・活動－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

各種商品情報提供ツール

ニュースレター

ホームページ／商品検索システム

各種カタログ

セミナー・展示会

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

事業環境①　－大学・公的研究機関、企業の研究費－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

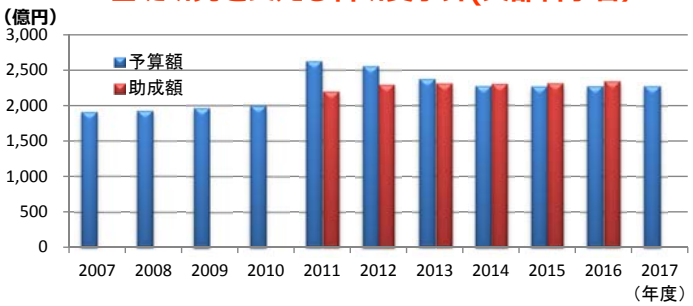
大学　**公的研究機関**

理化学研究所（文科省）
産業技術総合研究所（経産省）
医薬基盤・健康・栄養研究所（厚労省）
・・・

- 国から提供される
  - 運営交付金
  - 競争的資金（例：文部科学省の科研費）

などの資金をもとに研究活動を行う。

基礎研究を支える科研費予算(文部科学省)



他社にない商品・サービスのラインアップ拡充等、研究者に当社ならではのソリューションを提供

企業

製薬会社、食品会社、化粧品会社、ベンチャー企業、・・・

- 各企業の事業計画や開発プランなどに基づき、基礎研究にどのくらい「投資」するかの予算が組まれ、その資金をもとに研究活動を行う。

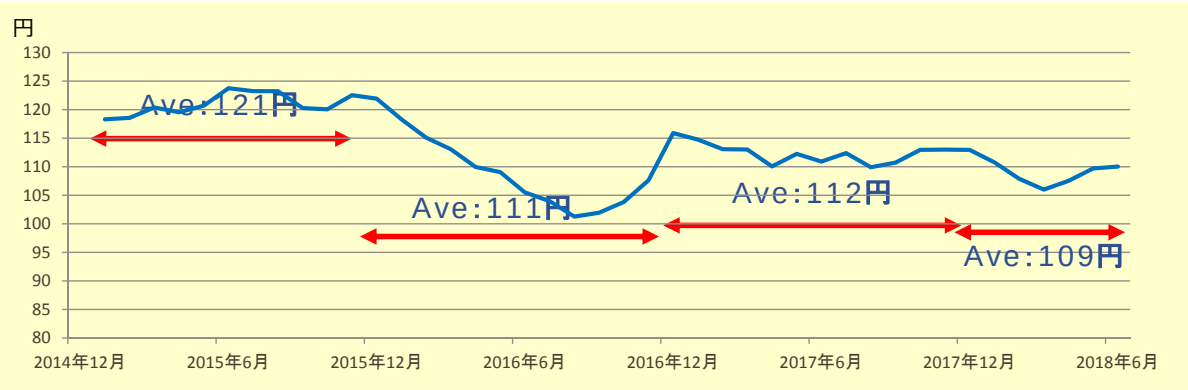
製薬企業の研究外注ニーズを的確に把握しサポート

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

事業環境②　－為替の影響－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

為替相場

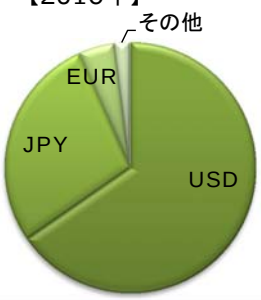


- 為替変動により利益に影響
  （円安では仕入原価・コスト高）
- 為替予約により為替変動リスクを軽減

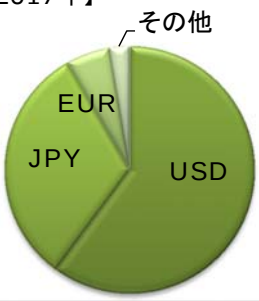
平均為替レートの推移（円／ドル）

2015年	2016年	2017年	2018年（計画）
121円	111円	112円	115円

【2016年】



【2017年】



© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

事業環境③　－市場規模と競合会社状況－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

競合会社

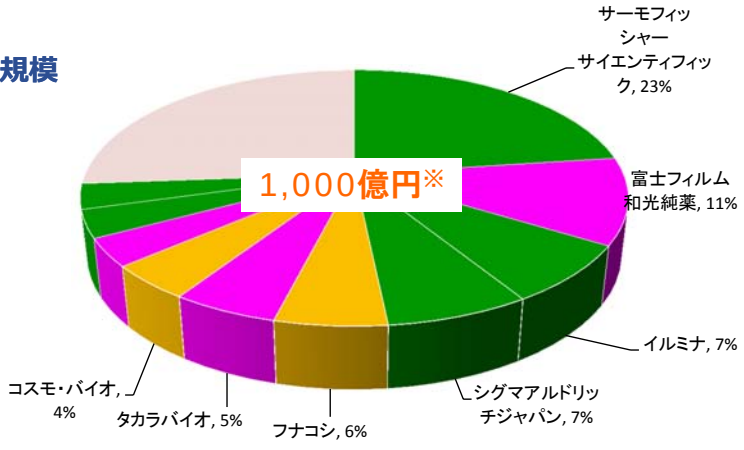
市場の伸び悩みに伴い、シェア獲得のための価格競争は継続。

ライフサイエンス研究用試薬の市場規模

◆競合会社のパターン◆

1. 海外企業の日本法人
2. 大手企業の子会社・部門
3. 商社

※矢野経済研究所調べ



国際的なネットワークと豊富な品揃え・情報提供力を生かし、また自社開発により、信頼される質の高い商品・サービスを提供することで、売上・シェアを伸ばす

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

メーカー機能①　－新たな取り組み－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

なぜ商社がメーカー機能を？

- 研究資金（政府予算等）が横ばい状態のため市場の成長が鈍化
- 市場の取り合いによる競合他社との価格競争により利益低下
- 輸入商社（外貨取扱）事業のみだと利益が安定しない

メーカー機能を持つことで・・・

ユーザーソリューションの提供

- 市場にない（付加価値の高い）研究用試薬を製造して提供
- 自社技術を用いた受託試験サービスを提供

会社の成長・挑戦

- 自社製造のため為替に左右されず利益が安定
- 新たな事業領域を獲得し、事業規模を拡大

2017年10月 札幌事業所稼働
今後のさらなる事業の拡大に備えるため、開発・製造拠点の統合・拡張を実施。

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

メーカー機能②　－ペプチド事業－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

ペプチド合成事業

- 2016年12月より事業開始
- 新規にペプチド合成装置を導入
- 現在、順調に売上を伸ばしており、2018年以降も引き続き売上拡大を目指す

ペプチド合成装置

まずはじめに・・・

抗体作製サービス事業と連携させ、抗体の抗原となるペプチドを合成するサービスで基盤づくり

2017年12月

Proteomedix Frontiers社との業務提携により、
AQUAペプチドの配列デザインから合成までの一貫サービスを開始

2018年6月

メスキュージェナシス社との業務提携により、ペプチド創薬事業で新たに事業展開

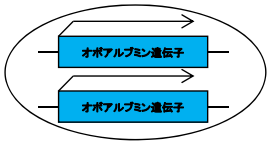
© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

メーカー機能③
－遺伝子改変ニワトリを用いたタンパク質製造－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

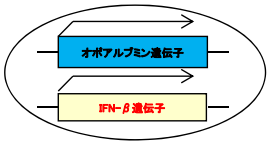
【技術の概要（インターフェロンβ）】

野生型ニワトリ細胞



オボアルブミンタンパク質を大量に含む卵

遺伝子改変ニワトリ細胞



オボアルブミンタンパク質のほか、
インターフェロンβタンパク質も大量に含む卵

【事業の推移】

2015年～	産総研・農研機構と共同研究開始
2016年～	NEDO助成を得て共同研究継続
2017年8月	ヒト インターフェロンβ製造に関する特許実施権を獲得
（NEDOプロジェクト終了後も産総研と引き続き共同研究開発を継続）	
2018年7月	当該技術がScientific Reportsに掲載
2019年～	研究用試薬としてヒト インターフェロンβを商品化（予定）
・・・・・	

本技術の優位性

- ニワトリの遺伝子改変技術が特許技術
  （産総研、農研機構の特許・特願）
- 従来の方法（大腸菌や動物細胞系）に比べ、大量に安定して作ることができる
- 卵自体が無菌の培養装置のような役割を果たすため、高価な培養プラント設備が必要なく低コスト
- 養鶏技術は既に確立済

ヒト インターフェロンβ（IFN-β）の大量製造の成功・確立により、
遺伝子改変ニワトリを用いたタンパク質の製造技術の優位性を示した。
今後は、IFN-βの他、量産することがメリットとなるタンパク質を創ることを計画中。

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

業績①　－連結業績ハイライト－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

（金額単位：百万円）

	2017年 第２四半期累計	2018年 第２四半期累計		前年同期比増減	当初予想比増減
		当初予想	実績		
売上高	3,699	3,900	3,798	2.7%	△2.6%
売上総利益	1,359	-	1,389	2.3%	-
販管費	1,152	-	1,156	0.4%	-
営業利益	206	155	233	13.0%	50.3%
経常利益	399	200	285	△28.6%	42.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	264	125	183	△30.6%	47.0%

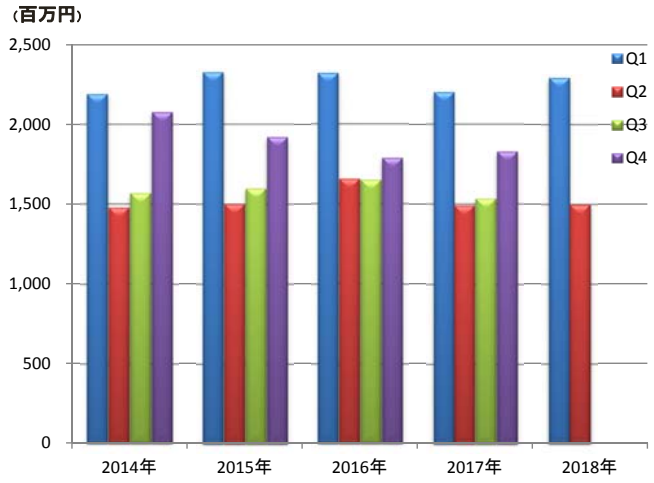
	2017年12月末	2018年６月末	増減額
総資産	8,126	8,263	137
純資産	6,838	6,994	156
自己資本比率	78.5%	79.0%	

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

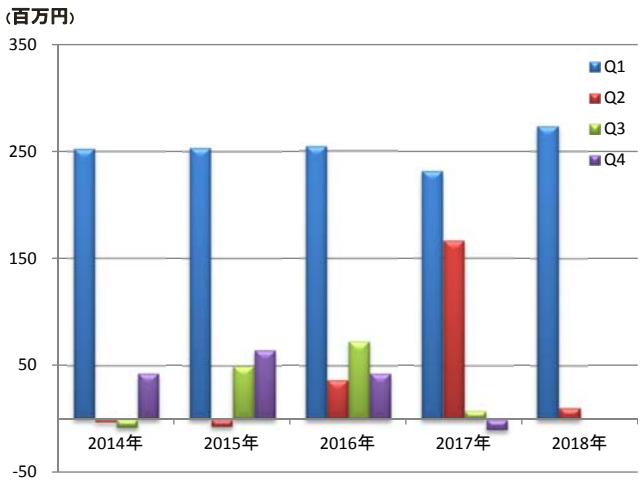
業績②　－四半期別動向（売上高、利益）－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

売上高



経常利益



【売上高】従来の四半期別売上高の傾向は、Q1で最も多く、Q2以降階段状に上がってくるパターン。
近年、政府予算の一部繰り越しができるようになり、この傾向も緩やかになっている。

2016年下期に複数仕入先との取引終了があり2017年は苦戦。

【経常利益】従来の四半期別経常利益の傾向は、Q1で最も利益を稼ぎ出す構造。

2017年Q2は計画外の営業外収益が計上され（投資事業組合運用益＋141百万円）利益大幅増。2017年下期はシステム投資の減価償却、在庫評価の適正化で利益減少。

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

業績③　－2018年12月期の連結業績見通し－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

（金額単位：百万円）

	17/12月期 実績	18/12月期 予想	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	7,068	7,500	431	6.1%
営業利益	193	195	1	1.0%
経常利益	397	245	△152	△38.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	237	150	△87	△37.0%

平均為替レート	17/12月期 実績	18/12月期 予想
円／USドル	112円	115円

2018年12月期より、海外子会社であるCOSMO BIO USA, INC.を連結の範囲に含めます。

売上高　：積極的な営業活動、自社製品・サービスの売上増により、一昨年水準の売上への回復を見込む。

営業利益：仕入原価の増加を見込み、また販管費においてIT投資等を積極的に実施する予定。

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

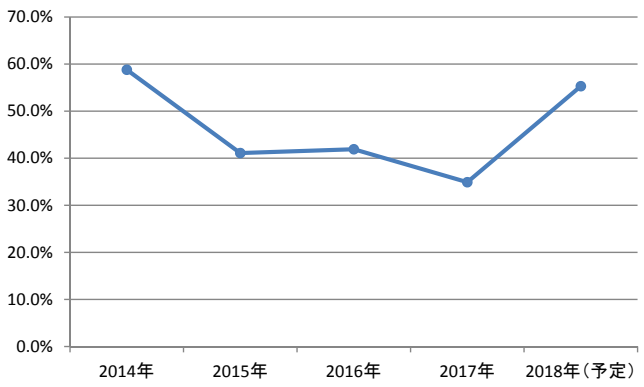
株主還元　－配当について－

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

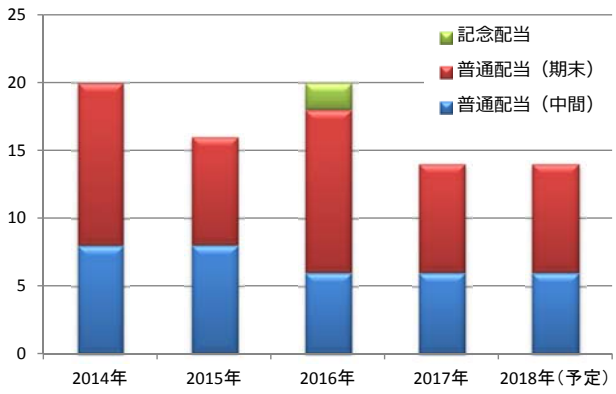
	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2018年 12月期	6円	8円（予定）	14円（予定）

2018年は、2017年と同額を見込んでおります（連結配当性向（予想）は55.3%）。

連結配当性向の推移



1株当たり配当額の推移



© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

まとめ

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

- ✓ コスモ・バイオは今年で35年目を迎える**バイオの専門商社**です
- ✓ 売っているものは、研究用の試薬・機器などです
- ✓ お客様は、大学や公的研究機関、製薬企業等の研究者です
- ✓ 2005にJASDAQに上場しました（証券コード3386）
- ✓ 上場来、**毎年配当**しています（株主優待はありません）
- ✓ 売上（連結）が約70億円、従業員100名ほどの会社です
- ✓ 輸入商品が売上の大半を占めていて、利益は為替の影響を受けます（**円高だと利益に貢献**、円安は利益が厳しい）
- ✓ 会社設立以来、赤字になったことはありません
- ✓ 商社機能を軸に、近年はメーカー機能の強化に取り組んでいます
  - ✓ 細胞製造事業
  - ✓ ペプチド事業
  - ✓ ニワトリ事業

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.

ご注意

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社　　総務部
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
http://www.cosmobio.co.jp/ir

© 2018 Cosmo Bio Co., Ltd.